

(株)サンクリエイトホーム

建築設計・施工・管理

青森県青森市富田3-14-21

TEL.017-718-8020 FAX.017-718-8021

E-mail:sunhome@actv.ne.jp

http://sun-home.info/

代表取締役・一級建築士

インタビューー

佐藤 千丈 × 秋野 太作福祉住環境コーディネーター2級
宅地建物取引主任者

【併優】



INTERVIEW

CHITAKE SATO × TAISAKU AKINO

秋野 独立に至るまでには波瀾万丈の道を歩まれたとお聞きしました。

佐藤 はい。実家は農業を営んでいるのですが、私は地元で工務店に入って現場監督の助手をしていました。こう言うところへ来ていいのですが、要は大工さんの雑用係のようなもので主な仕事は材料運びや掃除。「二級掃除法」と呼ばれて悔しい思いをすることもありました(笑)。しかしプロの仕事の間近で見て多くのことを学べ、悔しさもバネになって二級建築士の資格を取得することができました。その後は飲食店ビルなどの意匠設計・管理業務に携わっていたのですが、バブル崩壊の煽りを受けて建築部が廃止されたことに伴い退職しました。運良く大手ハウスメーカーに転職できたものの不況の波は厳しくそこも倒産。工務店を転々としたのですが、やはり業績は厳しく身を落着ける場所はないかなと見付かりませんでした。そんな中「こうなったら自分から会社を興して理想とする家造りに励んだ」と考え、一級建築士の資格を取得して平成十八年六月に当社の設立に至った次第で

秋野 思い切ったご決断ですね。

佐藤 「これ以上悪くなることはない」「人間死ぬ気で頑張ればできないことはない」という開き直った気持ちになり、逆に固い意志を持つことができたのでしょうか。しかしやはり何もないとどこからのスタートでしたので、当初は眠れない日が何日も続きました。幸い業界での経験が長かったことから、懇意にして下さっていた業者や以前の会社の上司にどんなに小さな仕事でもいいので頂けるようお願いして道筋を付けてもらいました。お陰様で現在は会社も徐々に軌道に乗って来ました。

秋野 大手から地元の工務店までライバルは多いと思いますが、御社ではどのような点を特色としていらっしゃるのですか。

佐藤 低価格でありながら質が高く、住まわれる方が幸せに暮らせる家の提供を目指しています。今、家を建てる世代として人口的にも多いのが団塊ジュニア世代ですが、家にはかりお金を掛けるわけにはいきませんよね。ローコスト住宅と言つと「安かろう、悪かろう」のイメージが付きまとうのですが、私どもの言う「低価格」とは質に見合った無駄のない「適正価格」を意味しています。

秋野 具体的にはどのような取り組みをされているのでしょうか。

佐藤 コストの削減はどの企業も注力されている目標だと思いますが、社長自らがどれだけ本気で取り組むかで成果は違ってきます。私どもでは経費の掛かる自社ビルやモデルハウスを造らず、直接施工で中間

無駄を省き、必要な経費はすべて最初に提示。安心の《適正価格住宅》



マーゲンをなくし、メーカーとの直接交渉を進めるなどの取り組みを徹底することで充実した標準装備を備えながら、一坪あたり三十万円台(四十二坪)での引き渡し価格を実現しました。また、価格の表示にもこだわりを持っています。

秋野 詳しくご説明願えますか。

佐藤 住宅価格の表示方法には決まりがありません。そのため建物本体の価格のみを坪単価として示し、必ず必要となる給排水工事などの別途費用を表示しないケースが多くあります。そのため最終的に価格が二倍以上まで膨れ上がってしまうこともあるのですが、当社では始めから建物本体以外の別途工事費や照明器具、カーテンなど基本的な諸経費をすべて含めた「コミコミ」の価格を表示しています。つまり引き渡されたその日から水やお湯が使える、普通に生活ができる状態の価格なのです。

秋野 なるほど。そのような表示方法だと安心して依頼できますね。しかし他社と単純に比較して「高い」という印象を持たれてしまうこともあるのでは。

佐藤 確かにそういったこともあります。そこで当社では「コミコミ」価格についてご

理解頂けるようホームページなどを通じて周知を進めています。ホームページ上では基本となる設定価格や仕様、別途必要とされる費用なども正直かつ分かりやすく説明させて頂いています。また、建設中の現場につきましてもいつでも自由にご覧頂けるようにしています。

秋野 お客様の視点から様々な配慮をされているんですね。お忙しい毎日かと思いますが、ストレス解消法などがあれば教えてください。

佐藤 私自身もとお酒も煙草も嗜まないアウトドア派でして、バイクやスポーツなど色々な趣味を楽しんでいます。

秋野 最後にこれからに向けてひと言お願いします。

佐藤 企業というものは変化し続ける時代の要請に出来るべく世代交代をしながら発展していくことが大切だと思いますので、《家族が幸せに暮らせる住まい造り》を理念に後継者が安心して受け継いでいける土台を築いていきたいと思つています。それが実現した後は隠居生活を送りながら人生を楽しみたいですね。

秋野 本日はありがとうございました。

①INFORMATION

| 施工例



I 様邸



I 様邸



H 様邸内部